

高井戸小学校 2月24日18:30～学校運営協議会第10回議事録

○学校整備課から

- ・学校整備担当部長より

高戸小の増築、具体的な校舎の作り方と今後の児童数の推移、平成18年度からの推移についての説明。

- ・学務課、高井戸小担当の事務職員より

児童数・学級数の推移について（学務課長より）資料「高井戸小学校児童数・学級数の推移」をもとに説明。

高井戸小学校増築等について（学校整備課長より）資料「高井戸小学校増築検討図 特別教室及び学童棟3階建案」をもとに説明。

将来的（令和7・8年度）のことも考えたうえでの計画である。

○質疑応答

小林：外階段は、なくても大丈夫か。→法規的には大丈夫である。設計で確認していく。

内藤：児童数の増加と学級数で、オープンスペースの教室が改善されるという話かと思うが、令和6・7年がピークとなっているが、現状より増えることが考えられるが、さらに増えた場合は？

鬼澤：今26学級ある。増築によって図工室と理科室分を4学級増となるが、竣工が令和6年の2学期だとピーク時の教室不足に対応できないのではないか？

→予測通りの学級数になった場合は、それまでの間は今の状況で賄わなければならない。それまでの教室の確保は課題であり、学校と相談していく。令和6年2学期まではできないので。

→学校と話し合い計画をねっていきたい。

鬼澤：教育環境のしわよせで、子供たちが犠牲とならないようにしてほしい。

内藤会長：1階に育成室として、学校とは別の組織が入ってくる。どのように調整するのか。

→児童青少年課に確認している。多くの学校で学童や子供の居場所を入れているところもある。児童青少年課が責任をもって対応する。教職員には負担をかけないように対応している。今後も学校運営に支障がないようにしている。

内藤会長：小学校の教職員に負荷がかからないようにしてほしい。

→子ども家庭部門は別組織である。学校の中に学童があるのは他の実績もあるので、高井戸小でも取り組むことができるようにしていく。

内藤：今の児童館はどのような形になるのか。

→令和6年度に高井戸児童館の学童半分ぐらいが移転する。小学生の放課後居場所事業が移動する。令和7年度に移転した部分に、子供子育てクラブを開設する。

内藤：今の児童館の環境は最高である。高井戸小の一室に移しても同様にはならない。広場が向こうはある。小学校内に作ることで、どのような形になるのか想像できる。

→現在、小学校では教室がたりないくらい児童がいる。児童館や学童クラブを使う児童も増える。学童のよさを損なわれないようにしていく。

内藤：学校が児童館と同じ環境にするためには、学校のグランドの利用についても考える必要がある。混乱も予想される。

→混乱がおきないように、他校の例もあるので、第2学童として高井戸小を入れる。CSの方々の御意見も取り入れ、行政として考えていく。

内藤：忘れ物など、時間外のルールをしっかりと決めたうえで行わないと、学校教育にも障害がでると思われる。

奥田：5年推定で行っているのか？時期的に現時点というのは遅いと感じている。5年前を考えてみると、今後についても考えていく必要がある。手遅れ的な感じもある。

→ご指摘の通り。平成27年度に分かった時点で考えなければいけなかつたことも否めない。子供が増えている小学校として認識をもつべきだった。他にも大変な学校もある。予算を使い、優先順位もあるのが関係している。

奥田：保護者は優先順位と言われても納得できないところもある。マンションが建っているから予想はつく。作った段階で今後についても検討しておく必要があったのではないか。

→高井戸小は、築浅だが、この間のことを教訓として生かしていく。

奥田：選択制がなくなったことも影響している？校区が決まったから？

→地域に根差した学校づくりを進めている。地域と一緒にある学校として、地域の子供がその地域の学校に行く。

小林：学区の見直しは考えているのか？

→学区割ができる地域とむずかしい地域がある。地区区割りは簡単ではない。どうしようもない場合は、書き換えていているところもある。5～6年取り組んでいるところもある。最後の手段として行った。

内藤：富士見丘小ができ、高井戸東小ができてきた。学校を増やすことで分散されてきた。どのような形で行うのかをはっきりしておくと混乱にならない。担当がいるだけではうまくいかないこともある。

会長：区で計画を立てていく中で、問題があればCSに相談してほしい。

→また、CSに参加させていただき、説明等していきたい。

○会長挨拶

コロナが落ち着く様子がない。今回は令和4年度の教育課程について。

○校長挨拶

本日は、令和4年度の教育課程についての説明です。

○令和4年度教育課程の編成について（教務主任中村より）

教育課程（資料）をもとに説明。

昨年からの変更や来年度に新しくなった点、杉並区の教育ビジョンにかかわる点について、

校長：杉並の教育ビジョン2022、学習指導要領の受け、学びを深めさせることを前面に出した内容になっている。重点として取り組んできた内容と、今後も取り組んでいく内容について。来年度は4～6年が工場見学を予定している。このような形でよろしいでしょうか。今年度より、承認日の欄が入った。学校運営協議会の設置が全校に設置されたので、このような形になった。

→委員の方からの承認。

○地域・関係団体から

会長：小学校はコロナピークアウトしたからよかった。財団は年配者が多いので気を付けていきたい。

内藤：区民センターの盆踊りについて、実施等については7月下旬にという話も出てきている。環境等との関係もある。

○その他

次回の予定3月17日（木）18：30～